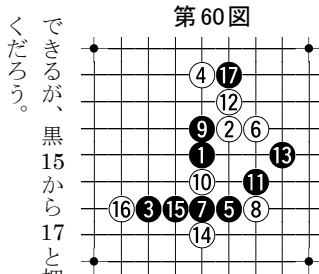


彗星ガイド (7)

九段 河村典彦

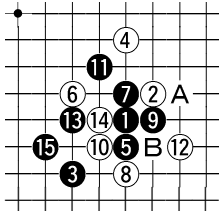
今回も白4について調べていこう。

【第60図】黒5も打てる場所だが、少々やっこしい。白6は黒の追い勝ちをけん制するためには必要ない一手。これを12では黒7から勝たれてしまう。



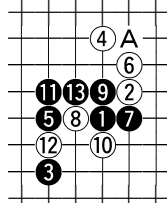
続く黒7に白8の外止めが大事な一手で、中止めだと白は苦戦に陥る。黒9は当然だが、次の黒11は難しい所。ここは13もあるが、譜の黒11の方が若干打ちやすいだろう。黒は13で三々禁の筋ができるが、黒15から17と押さえておけば、しばらくは黒の優位が続くだろう。

第61図



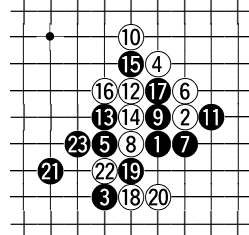
【第61図】通常はあまり打てない黒5もこの白4には打てる。白6と脅かしても、黒7と先にここを占められるのが大きく、黒9と休んで黒はまずまずの形勢だろう。白11と引いてしまうのはお手伝いになるので、黙って白10と止めるが、黒11、黒13から黒15とここで勢力を張って攻めるのが面白い。なお、白6をAなら、黒Bと打っておいで良く、その他の白6も黒は何とか対処できるだろう。

第62図



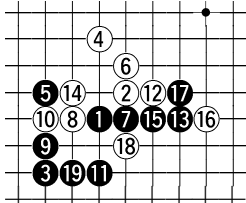
【第62図】次の黒5に移ろう。どんどん紹介しているので、既にか所目の黒5となる。この黒5もいつもの通り打てる場所である。白6と打つのが白4と関連した防ぎだが、黒7と一旦押さえ、黒9と休んでおく。白10なら黒11から13で、黒が有利だ。白6でAなら、黒9で12と引けるので追い勝ちにできる。

第63図



【第63図】前図の変化では白は不満なので白10から変化する。白12と打たれて黒も怖いが、黒13に白14と引かなければならないので、白の勢力が一気に弱くなる。白16から白20は白としてもやむを得ず、これで混戦に見える。しかし、黒は21、23と打って、左辺で攻めるのが面白い構想。白の反撃筋がないだけに、この黒を止めるのは容易ではないだろう。

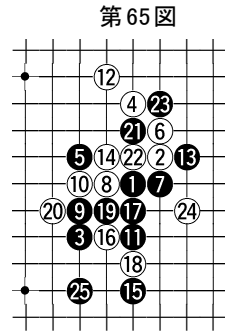
第64図



【第64図】次の黒5に移ろう。この黒5も当然打てるのだが、これまでの黒5と比べると厄介な変化が多い。今回も白6と打つのが良いだろう。黒7はやむを得ず、白も8と防ぐのが強い。ここで黒9と打って様子を見る。白10の中止めなら、黒11とこちら側の急所に打ってけん制する。対して白12なら、当然黒13と止め、白14で含み手を打たれても、黒15、17で逆に先手を取る。黒19に手を回してはさすが

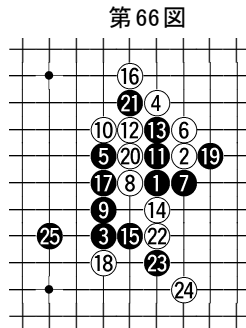
に黒が良いだろう。

【第65図】白12の変化。白12と引いてからの14は、黒の三々禁を狙う追い手となっている。この時に黒15と禁手をおかすのがしやれた一手となる。これには白泣く泣く16と止めるしかなく、黒17、19と打って好調に攻めることができる。黒25と打って優位が続き、後の変化はあるものの、結論は黒勝ちになるだろう。



ろう。

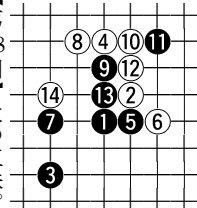
【第66図】白10の変化。白は外止めの方がより強い防ぎになる。黒11は当然で、白も12から14と防ぐくらいだろう。黒15は絶好点とも言える急所で、白16の時に黒17と四ノビをしておいた方がよい。これは白22まで防がれた時に、黒23と引いて黒25と左辺に展開する狙いがあつたからである。これで際どいが、研究していれば黒は勝てるだろう。



【第67図】黒5の変化。これで七題目となる。これ以降の黒5はかなり苦戦を覚悟する必要がある。こういう手を調べておけば、白を打った時に対応できる。

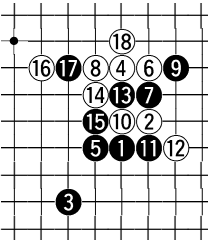
黒5には当然白6と打つが、黒7と組んでおくのが黒の抵抗となる。前にも似たような手は打つたが、微妙に位置が違っているのが面白い。白は8のトビ三から白10と手順に引いてくる。黒11と我慢

第67図



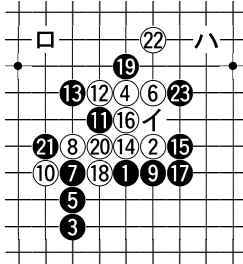
するしかないが、白12とさえぎって、これを止めるのは難しそうだ。結局、黒13と打つぐらいしかなく、白の勢力と黒の勢力がにらみ合う展開となる。白も例えば白14と攻めながら防ぐ手が必要となる。

第68図



【第69図】次はこの黒5。同じように白6と密集するのが強い。黒7と一本引けるのは嬉しいが、白石も1つ増えているのでそちらの損の方が大きい。黒9には逆モーシヨンで白10とノルのが厳しい。黒11に白12から14と手順に手を作り、黒15にはノリ手を覚悟で白16と引くのがよい。白22が厳しく、黒23ならイロハで四々禁となる。

第69図



【第68図】次の五珠。この黒5も通常は打てないが、この白4には打てるのだろうか？白は6と密集するが、黒7から必死に防ぐ。白8からノリ手の応酬で、黒15まで進むと、あれ？これ前にやつたような…実は白18まで第54図に戻っている。この図は何と3回目になる。前にも言ったように同じ形に戻ることが多いので、形になじんでおく必要がある。ということ、この黒5は打てないと結論付けておく。